

# あそびまつりだよりNo.8

2019.10.4

頌栄幼稚園

## ドッジボールあそび(年長)

朝ののびのび遊びで楽しんでいたドッジボールあそびを9月に入っても楽しんでいたの、年長組みんなでした。



## 園庭でも遊びました。



「当たったよ」「顔はセーフ！」  
「今の顔やったなあ」  
「足、当たったで」前回よりも言い合う姿が増えています。話し合いで気づいたことや決まったことが遊びの中で共通理解になってきています。

1回目のあそびは体育館でした。この線を真ん中にしようと決め、男の子対女の子に分かれて始まりました。

ボールの数は4つ。その中の一つはアメフトボール(トライやるウィークのお兄さんたちとの遊びに触発されてこのボールを買いました)で、避けようとしてもどこへ行くかわからず、子どもたちも楽しそうでした。後ろや横、前からボールが来ては当たり、また拾い、投げてを繰り返していました。今回は2回当たると外に出る(外野になる)と子どもたちが決めて遊んでいました。

それにしても、体のあちらこちらにボールが当たるのですが外野になる子がいないなあと思い、子どもたちに聞きました。

教師：どこに当たると外野になるの？

子どもたち：頭と顔はセーフ。お腹もセーフ。足もセーフ。

背中もセーフ。

子どもたちの答えに驚いていると、Aちゃんが「それやったら、どこもアウトにならへんやん」と気づきました。Bくんも「そんなドッジにならない」と言い、本当だと、みんなはとしたようです。(気づいて良かった・・・)

するとCくんが「でも、手はセーフやで。だって、キャッチしないといけないから」「そうやんな」「ちがうで」と、またまた話し合いに。でも、キャッチができなかった手は当たったこと(アウト)になる、ということに気づけました。(4月から遊んでいたの約半年かかってやっと気づけました!) <話し合いの後、決まった事>

○セーフ・・・顔と頭      ○アウト・・・手、足、背中、お腹



トラブルが起こっても・・・

「Dくんどうしたの?」「Eくんがだめって言った」「何がだめなん?」「だって、D君ずっとボール持ってるから」(早く投げてという気持ちがあったようです)

「Dくんずっと持ってたからやで」「早く投げたらいいねん」「Eくんも強く言ったらあかんで」と周りの友だちが話を聞き、DくんとEくんも元気を取り戻し、また遊び始めました。友だちの力はすごいですね。

9月27日にはアメフトボール1つで遊びました。「2回当たると外に出る」ルールでしていたのですが、審判も、見ている人も解らないと意見になり、1回当たると出るようになっていきそうです。「跳ね返ったボールに当たってもセーフ」と遊ぶごとに新しい気付きが増え、スリルが増して、楽しそうな子どもたちです。